

ヌノマオ

科名 イラクサ

学名 *Pipturus arborescens*

別名 オオイワガネ



区分 木本類

分布 おきなわほんとう いしがきしま いりおもてしま よなぐにしま
沖縄本島、石垣島、西表島、与那国島、
たいわん
台湾、フィリピン、ボルネオ

葉の形 卵形

葉の縁 鋸歯

葉の先 尾状形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形、円形

実の種類 そう果

花・萼色 白色

せつ 説 明

ていち ひ あ よ あ ち みちぞ せいいく じょうりよく ていぼく たか は ご
 低地の日当たりの良い荒れ地や道沿いに生育する 常 緑 の低木で高さ 3-5mです。葉は互
 せい 生し、ふつうはらんけい をしています。長さ 7-18 cm、幅3-6 cmで葉先は尾状形、葉の縁は鋸歯が
 は ひょうめん け なが はば はさき びじょうけい は ふち きよし
 あります。葉の表面は毛があるためざらついており、葉の裏面は柔らかい毛が生えていま
 はな えきせい しろ はな あつ さ しゅういかぶ
 す。花は腋生し、白い花が集まって咲きます。雌雄異株。